



学生相談室だより

第38号

2019. 10. 21 発行

風が肌に気持ちいい季節になりました。スポーツ、読書、芸術、純心祭・・・。楽しみが多い季節です。カウンセラーからのメッセージで新しい何かを感じることができるといいですね。

カウンセラーからひとこと

「ゆるくつながる」

深井 薫 (月曜日担当)

『イヤな気持ちに気づいたら…』

暑かった夏が過ぎ、三ツ山の木々も色づき始めました。これから秋も深まっていきますね。

夏休みでほっとした後、後期の始まりと共に、大学生活のリズムには慣れてきましたか？

さて、今、気になっている絵本があります。「わたしには きれいなひとがいる。なんにんか、いる。」の書き出しで始まる絵本“ころべばいいのに”（ヨシタケシンスケ著）です。主人公には、どうしてもうまくいかない人がいます。「アイツがだいきれい」な自分を認め、「イヤな気分をどうするか」あれこれ頭の中で会議をします。こころの処方箋を自分で探していくストーリーですが、軽妙なタッチで繰り広げられる絵と文が素晴らしく、読み終えた後、自分を肯定する気持ちになれます。(人それぞれですが...)

皆さんもイヤな気持ちになったり、自分だけではどうしようもない時があるかもしれません。そんな時は、自分の「はげましアイテム」を探しに、学生相談室に話しに来てみませんか。お待ちしております。

「開拓者精神」

川浪 由喜子 (火・水・金曜日担当)

朝ドラ 100 作目の「なつぞら」は、戦争孤児だった主人公が北海道の開拓者一家に引き取られ、自らもアニメーターとして新たな表現を開拓していく物語です。朝ドラは、その時代を映す鏡だなと感じることが多いのですが、今回の朝ドラも「開拓者精神」を描いているということで、まさに今の時代に必要なものだなと感じます。

今、世界の動きを見ると、偏狭なナショナリズム、排外主義がはびこってきており、戦争を経験してきた人達からは、戦前の空気感に似ているなどと言う声を聞きます。でも、一方では、それに対抗した市民運動も活発になってきていますし、まさに世界は二極化していることを実感します。そこは、戦前にはなかったことだと思えますし、私達はどちらサイドに立つかという選択（つまり、「利己主義・競争に基づき、地位や権力・お金が大事」という「古い価値観」と「協力と分かち合いに基づき、平和や愛・正義が大事」という「新しい価値観」）を迫られていると感じるのですが、皆さんはどのようにお感じでしょうか？

「なつぞら」の中で、主人公の夫が、次のようなことを言っています。「開拓者精神の底には、深い悲しみがあつたけど、人との結びつきを何よりも大切にすることで、他人を家族のように受け入れる優しさが生まれる。本当の家族であるかどうかではなく、その意志があるかどうか大切である」と…

「あなたの好きなインフルエンサーは？」

浅香 佐輝子 (木曜日担当)

流行の発信者のことを、インフルエンサーと言いますが、沢山の SNS ユーザーの中で、そう呼ばれ続ける事はとても難しく、常に様々な物事に敏感で、かつ、自分らしさが要求されるそうです。

その様な中で最近、技術の進歩で、『バーチャルインフルエンサー』という人々まで、登場し始めました。日本初のモデルは『imma』という名前の、ピンクの髪の女の子で、一見、今どきの女子高生ですが、実は首から上は3DCG なのだそうです。現在では、他にも世界で 10 名ほどの、バーチャルインフルエンサーが活躍しており、この様な人々が、どんどん作られている様です。

あるリアルに活躍されている女性モデルさんは、「肌の管理や、老いる事への心配がいらぬ彼らは、今後、私達の強力なライバルになるだろう」と話していました。

AI などの技術の進歩により、時代が変化し、働き方も変わってくると予想される今、どの分野でも、逆に人間らしさや、想像力などが、より求められるようになっていくのではないかと思います。

皆さんの人間力を少しでも高めるために、ぜひ有意義な学生生活を過ごして下さい。